

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの 取り組みについて



鳥取大学医学部
地域医療学講座
今岡 慎太郎

皆さま、こんにちは。このたび総合診療科医師として赴任いたしました今岡慎太郎と申します。出身は島根県松江市で、前任地は松江赤十字病院です。内科医の経歴といたしましては初期臨床研修を終えたのち、前任地にて血液疾患を専門に白血病や悪性リンパ腫などの診断や抗がん剤や骨髄移植による治療、血液腫瘍に対する緩和医療に7年間携わってまいりました。専門以外でも誤嚥性肺炎や尿路感染症に対する診療や今後の患者様の生活の検討なども含めて担当しておりました。そこで患者様の診察や対話に重きを置くことの大切さを実感いたしました。一方で医学生の間から山陰各地の地域医療の在り方に関心があり、今もって地域医療の抱える課題が数多く存在する中で自分に何か出来ることはないか、模索し実践する場を求めているうちに、縁あってこちらに勤務させていただくことになりました。微力ながら皆様のお役に立てればと考えております。よろしくお願いいたします。



鳥取大学医学部
地域医療学講座
孫 大輔

日野町の皆様、はじめまして。総合診療医の孫（そん）と申します。出身は佐賀県鳥栖市です。東京で20数年働いていましたが、このたび、ご縁があって鳥取に移り住むことになりました。今は大山町に住んでいます。山が見え、海も近く、自然に囲まれて過ごせる環境を清々しく感じています。私は患者さん一人一人との対話（たいわ）、つまり双方向のコミュニケーションを大事にしたいと考えています。一方的にこちらが伝えるだけでは満足はいく医療はできず、まずは患者さんの困っていることや生活のことをお聞きして、そして問題の解決に向けて話し合いながら医療を進めていきたいからです。とはいえ、鳥取のことを私はあまり知りません。鳥取の生活や文化のことを皆さんに教えてもらいながら、皆さんの暮らしに合った医療を進めていきたいと思っています。遠慮せずに小さなことでも何でも話してもらいたいと思っています。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。